

弥生時代は、本格的に米づくりが始まった時代です。田能遺跡は、第 87 次調査（令和 6 年時点）まで行われていますが、昭和 40 年の調査ほど濃密な遺構群が見つかってはいません。しかし、^{せき}周辺遺跡の調査からは、川の流路あとや堰のほか農具や石庖丁などが見つかっており、弥生時代の人々が田能や周辺の地域で米づくりを行っていたことがわかります。

今回の展示では、米づくりの道具や周辺遺跡の調査成果を紹介しながら弥生時代の米づくりについて考えます。

展示内容

第 1 章 米づくりのひろがり

尼崎で米づくりがはじまった頃のムラ

土器・石庖丁（上ノ島遺跡 所蔵：尼崎市立歴史博物館）

第 2 章 米づくりの一年

①田おこし

鋤（東園田遺跡 所蔵：尼崎市立歴史博物館）

②代かき

③田んぼにモミをまく・田植え

④稲刈りと根刈り

大型石庖丁（東園田遺跡 所蔵：尼崎市立歴史博物館）

⑤脱穀

杵（東園田遺跡 所蔵：尼崎市立歴史博物館）

⑥米の収納

高床倉庫 写真パネル

高床倉庫の復元部材 写真パネル

（鳥取県：青谷上寺地遺跡 画像提供：鳥取県）

第 3 章 田能周辺の米づくり

①口酒井遺跡

深鉢（所蔵：伊丹市）

②原田西遺跡

堰、鋤、又鋤、木庖丁、杵、田下駄（写真パネル 画像提供：兵庫県立考古博物館）

③岩屋遺跡

堰、杭（写真パネル 画像提供：兵庫県立考古博物館）

堰復元模型写真（写真パネル 撮影許可：伊丹市）

第 4 章 おわりに

関連事業

（1）展示解説と体験会

「弥生時代の脱穀を体験しよう」

弥生時代と同じように臼と杵でお米を脱穀します。

7 月 12 日（日）

※ひょうごプレミアム芸術デー

8 月 23 日（日）

いずれも午後 2 時～（30 分程度）・無料

会場：展示・学習室 申し込み不要、
直接資料館へ

（2）親子で木のスプーンづくり

「木の特長を知ってスプーンをつくろう」

木の特長に詳しい先生からお話を聞いたあと、好きな木を選んで、親子で木のスプーンをつくりま

す。7 月 25 日（土）午後 1 時～午後 4 時まで

対象：小学 3 年生～中学生と保護者 定員：親子 10 組 20 人

申し込み：必要 材料費：800 円

木のお話：今井 元一先生（今井材木店・スプーン倶楽部代表）

製作指導：三鼓 章仁先生（スプーン倶楽部）

申込開始：7 月 5 日（日）～（先着順・定員になり次第しめきり）

申込：電話で田能資料館まで

電話番号：06-6492-1777

田能資料館開館時間のみ（月曜日休館、ただし 20 日（月曜日・祝）は開館し、21 日（火）が休館 午前 10 時～午後 5 時）



米の圧痕のある土器
丸で囲った部分
（上ノ島遺跡）
所蔵：尼崎市立歴史博物館



鋤（東園田遺跡）
所蔵：尼崎市立歴史博物館



杵（東園田遺跡）
所蔵：尼崎市立歴史博物館



鳥形木製品（東園田遺跡）
所蔵：尼崎市立歴史博物館



大型石庖丁
（東園田遺跡）
所蔵：尼崎市立歴史博物館



深鉢（口酒井遺跡）
所蔵：伊丹市



木のスプーン